

日刊建設工業新聞(2018.10.25)

設計分野含め 取り組み報告

全測連中国
技術発表会

全国測量設計業協会連
合会(全測連)中国地区
協議会(荒谷壽一会長)
は18日、広島市中区の広
島県立総合体育館で第1
回技術発表会を開いた。写
真。当日は、100人
を超す参加者が代表的な
業務事例の説明などに熱
心に耳を傾けた。



荒谷会長は「測量技術
の講習会は毎年行ってい
るが、今回初めて設計分
野も含めた技術発表会を
開催する。発表内容は各
県を代表する業務といえ
る。ここで得たものを各
社に持ち帰り、水平展開
することでの次の業務に役
立てて頂きたい」とあい
さつした。

発表会では、錦織直紀
中国地方整備局中国技術
事務所技術情報管理官が
「橋梁保全の取り組み」
と題して特別講演。引き
続き、蔵光誠サンイン技
術コンサルタント業務推
進グループ係長が「赤外
線サーモグラフィの活用
と実用化事例」、大坂伊
作イズテック設計部設計
課係長が「静岡久手T線
鳥井工区軟弱地盤技術解
析業務」、岸泰之ウエス
コ環境計画事業部副部長
が「国道2号備前市沿道
環境対策設計業務」、原
中浩一山口建設コンサル
タント調査部課長が「戸
田・萩地区交通量調査業
務」、荒木義則中電技術
コンサルタント河川本部
エグゼクティブエンジニ
アが「広島西部山系斜面
崩壊危険度評価予測検討
業務」についてそれぞれ
解説した。